

ほけんだより 3月



2021/3/1 厚生館保育園

3月5日は暦の上での「啓蟄」春の訪れをまって、冬ごもりをしていた動物たちが一斉に土の外にはい出てくるといわれています。まだ、寒い日もありますが、春はそこまできています。

今年度はコロナではじまりコロナで終わるといふ異例の年です。ワクチンが全国民に行きわたらなければコロナの流行は抑えられず、一般の人たちにワクチン接種が回ってくるのが夏ころと言われています。まだまだ気が抜けませんね。が、この3月で、元気、元気♫のはと組さんは保育園を巣立っていきます。うれしいことでもあり、寂しいことでも……。この一年で一回り大きくなった子どもたち、成長が楽しみですね

2020年度の感染症

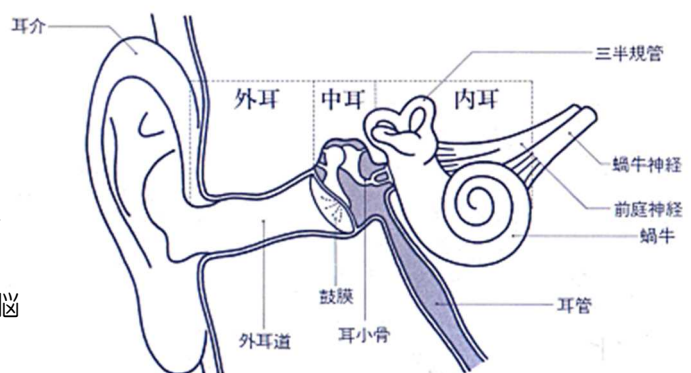
感染性胃腸炎：3名 溶連菌感染症：4名 突発性発疹：5名 水痘（水ぼうそう）：1名
年間を通しい、感染症はわずかで流行はありませんでした。感染症サーベイランスによる情報でも全国的に新型コロナウイルス以外の感染症は抑えられています。

・・・3月3日は「耳の日」です・・・

話声、自然の音、危険が分かるのも
耳の働きがあるからです。

耳の聞こえ方

- ・耳介で音を集め、その音は外耳の道を通して、鼓膜を震えさせて、耳小骨に伝わって、蝸牛（かたつむり官）に伝わり、神経を通り脳で音を聞き分けます。



耳には、もう一つの大事な働き

- ・三半規管というところで、体のバランスを取っています。自転車に乗れるのも、片足で立てるのも三半規管がバランスを取ってくれます。
ブランコを漕いで気持ちが悪くなる、車に乗って気持ちが悪くなるのは三半規管がいたずらをしているからです。

耳は大事なところなので、耳の近くで大声を上げる、耳をたたいたりすると、鼓膜が破れてしまう危険があるのでやめましょう。鼓膜が破れると耳が聞こえなくなってしまいます。

※図を見るとわかるように、鼓膜の内側が中耳です。耳は目、鼻、口と細い管でつながっているの、鼻汁がずっと出ていて治らないと中耳炎を発症、鼻汁が喉に流れて行くと咳が酷くなり、鼻汁が目に入ると目やになります。鼻汁が中々治らない時は、耳鼻科に受診をすることをお勧めします。



3月の保健行事

- 3日（水）身体測定（2～5才児）
- 5日（金）身体測定（0,1才児）
- 12日（金）地域ベビーマッサージ・育児相談
- 15日（月）0才児健診
- 19日（金）地域ベビーマッサージ・育児相談
- 26日（金）地域ベビーマッサージ・育児相談

かぜからくる
急性中耳炎に注意

かぜをひいた後、気をつけたいのが「急性中耳炎」。鼻水が耳管（鼻と耳をつなぐ管）を通過して耳に流れ込み、炎症を起こします。子どもは耳管が短くて太いため、急性中耳炎になりやすいのです。

高熱

一時的な難聴、閉そく感

症状

激しい耳の痛み

高熱

予防

- 鼻水はこまめにとる
- はなは強くかまない。片方ずつ、やさしくかむ

繰り返しやすい、しんじゅせいの滲出性中耳炎に移行しやすいので、きちんと治すことが大切

※はと組さん、小学校生活楽しんでくださいね♡♡♡

お父さんお母さん、保育園の送り迎えお疲れさまでした🍀